

総務建設経済常任委員会次第

日時；令和2年2月13日（木）

午前9時30分～

場所；第1委員会室

1. 開 会

2. 議 題 吾妻山公園の活性化について
 ・移動手段拡大の可能性について

3. 閉 会

【参考】

・車型としての参考にしたい「電動カート」について

高齢化が進む京急沿線の丘陵地で、電動小型低速車（最高時速 19 km）2 台による実証実験が 10 日間行われた。

横浜の丘陵地で「富岡第一地区ルート」と「京急ストア能見台店」ルートの 2 本で普通免許で運転可能であり、免許を保有する地域住民が運転することもできる。この車は左ハンドルで、実験中はタクシーの運転手が操作。

・M a a S とは

I C T を活用して交通をクラウド化し、公共交通か否か、またその運営主体にかかわらず、マイカー以外の全ての交通手段によるモビリティ（移動）を一つのサービスにとらえ、シームレスにつなぐ新たな移動の概念。利用者はスマートフォンのアプリを用いて、交通手段やルート検索、利用し、運賃等の決済を行う例が多い。M a a S の定義は、発達中の新しいサービスであることから、先行している海外においても定まったものがない。

色々な種類の交通サービスを需要に応じて利用できる一つの移動サービスに統合するもの。